

本屋の「今」が分かる！ 書店員さんのちょっとしたためになる情報誌

DAIWA LETTER 54号

特集 ラッピング紹介

大阪府：くまざわ書店なんばパークス店
東京都：コーチャンフォー若葉台店

埼玉県：旭屋書店イオンモール浦和美園店
東京都：文教堂二子玉川店

PICK UP! TSUTAYA おやまハーヴェストウォーク

プロフェッショナル 大盛堂書店 山本 亮

特集

他店のラッピングが知りたい！どんな資材を使ってるの？

ラッピング紹介



PICK UP!

「何げないとびきりの出逢いを、あなたに。めぐり逢いの、おてつだい。」

TSUTAYA おやまハーヴェストウォーク



プロフェッショナル

大盛堂書店
山本 亮さん

“才能のある人に輝いてもらいたい。
できる限り、やれる範囲で手を抜かない。”

裏面

コミックシュリンカーを扱う担当者様へのご案内 / 編集後記

DAIWA LETTER 54号 ダイワレター

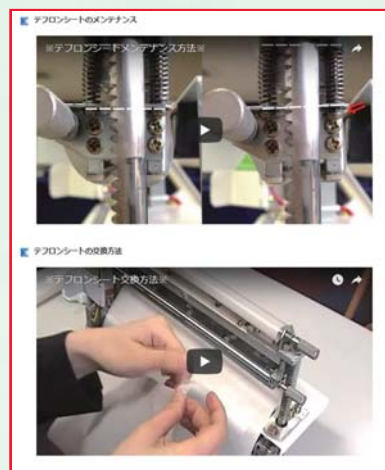
2018年6月発行 / 株式会社ダイワハイテックス 〒114-0043 東京都板橋区坂下1-34-27 TEL:03-3558-8131 FAX:03-3558-8132

年3回発行 / 発行部数5,000部

コミックシュリンカーを扱う担当者様へのご案内

WEBでメンテナンス動画掲載しています ロールタイプのフィルム対応機種全般

■ベテランスタッフさまはもちろん、新人スタッフさまへの教育としてご活用ください。
シュリンクロール1ケース消費ごとに1回の点検を推奨しています。



①上記URL (店舗支援ソリューションサイト)
右上【サポート情報】をクリック

②製品別サポート情報内の
【コミックシュリンカー】をクリック

スマートフォンで動画を見ながら
コミックシュリンカーのメンテナンスができます

RAPO シリーズ→NICO シリーズの順に掲載しています。
対応機種までスクロールしてください。



電源コード周辺の再確認をお願いします コミックシュリンカー全機種

■電源プラグのゆがみ (シュリンカー / 延長コード) / たこ足配線 にご注意ください。

- ・チェック項目・
 - ☐ たこ足配線をしている
 - ☐ プラグが曲がる可変タップを使用している
 - ☐ シュリンカーの電源プラグが曲がっている
 - ☐ コンセント奥までプラグが挿せていない
 - ☐ プラグの周辺にホコリが溜まっている
 - ☐ コードが機械に踏まれていたり、ねじれている

ひとつでも当てはまると ...

ショートする可能性があります

- ・ブレーカーが落ち、周辺機器への影響
- ・火花が発生しスプリンクラーの作動

など予期せぬ事故に繋がるかもしれません。

編集後記

みなさまこんにちは。梅雨の到来で紫陽花の映える季節になりましたね。前号をもちまして『社長のつぶやき』コーナーは終了いたしました。今号より編集後記をお届けしていきます。

さて、今号はラッピング特集として各書店さんのプレゼント包装を取材しました。オリジナル資材もあれば持ち込みプレゼントの包装サービスもありという様々な展開が見て取れました。無料ラッピングが主流の中、見栄えは保ちつつ時間や資材費をいかに抑えるかが知恵の見せ所。今後も書店のラッピング事情を追跡していきたいと思っています。

プロフェッショナルにご登場いただいたのは、渋谷のスクランブル交差点点真ん中にある大盛堂書店、山本さん。取材中、山本さんの接客を目にしました。店頭にない商品のお問合せだったようで、近隣の大型書店を丁寧に案内していたのです。インタビュアーの中にあった、お客様に喜んでいただけることを大切にしているという言葉通りの方でした。

取材に出て働く人を見るのが楽しい。経験からくる知恵や工夫が詰まっております。発見がいっぱいです。そして働くことへの想いを聞いた後はなんだか体がムズムズしてきます。普段会社の中にいては見えないものの感じられない空気があり、体内の眠っていた細胞が活性化を感じる。さらに記事に起こす作業では一言一言がより深く心に刻まれます。勉強という意味でも、モチベーションアップという意味でも、是非他の社員にも味わってもらいたいと毎度思うのでした。

さいごに個人的なお話ですが、この6月に4年ぶり2度目の産休に入ります。これまでダイワレターは担当者やコンセプトを変えながら15年続いてまいりました。短い期間ながら私もバトンを受け継いでダイワレターを世に送り出したこと、図らずもこうして一言ご挨拶をさせていただく機会に恵まれたことをうれしく思います。どうぞ引き続きダイワハイテックスとダイワレターをよろしく願ひ申し上げます。(高瀬)

取材：高瀬康子・古瀬あゆみ・露木鈴子・横山翔一
編集：高瀬康子・矢内明歌
校正：高瀬康子・有賀里紗

株式会社
ダイワハイテックス

感想・ご意見お待ちしております。

ハッシュタグ
#ダイワレター

バックナンバーWEBで公開中→<http://www.daiwa-book.jp/community/daiwaletter.html>



本TUBE http://www.hon-tube.com/

他の書店さんのラッピングが知りたい！

ラッピング紹介

どんな資材を使ってるの？

くまざわ書店ポーズなんばパークス店

「株式会社包む」のフレンドショップとしてラッピングサービスを展開

BOOKS & MAGAZINES
旭屋書店

旭屋書店イオンモール浦和美園店

旭屋書店が運営する本にまつわる動画投稿サイト『本 TUBE』がプロデュースしたギフトパッケージを店頭で販売中。組み立てるとクラッチ型になる。左右上下の厚み調整が可能なので、書籍と文房具など抱き合わせプレゼントに最適。クラフト地にシックなデザインは、父の日の贈り物にもピッタリ。



▲クラフト地を生かしてマスキングテープを貼ったり、色を塗って個性を出すのもGOOD！



コーチャンフォー若葉台店



▲常時ブルー・ピンク・黒の3色の包装紙を用意



書籍の他、ステーションナリーも充実しているコーチャンフォーでは、春の進学進級や新社会人向けのお祝いとして、筆記具から革製品など豊富で魅力的な商品を多数展開。今春は初の試みで「さくら」柄の包装紙を期間限定で展開した。

本文教堂

文教堂二子玉川店



2018年3月児童書コーナーを『天才キッズ』としてリニューアルオープン。売場ではジブリグッズを多数展開しており、立体的なプレゼント包装も多い。ピンク・ネイビー・ブラウンの巾着タイプの他、お子様が喜びそうなキラキラバックを有料としてラインナップ。

▲包装紙での無料ラッピングも用意



▲父の日に向けて、青色テイストのラッピングイメージも複数掲示。

▲1cm幅～5cm幅までリボンを豊富に用意。

▲ギュッと絞るだけの巾着タイプの資材も沢山！取り出しやすいように横向きで陳列。

■ラッピングシステム

ラッピング資材メーカー“株式会社包む”とくまざわ書店の連携店舗。

店内には様々なテイストの包装サンプルを50種類以上も展示しており、ラッピング資材がずらりと並ぶ。2種類のサイズ料金＋材料費で、くまざわ書店内での購入商品はもちろん、持ち込みプレゼントの包装も可能。

■ラッピングご担当者インタビュー！

Q. ラッピングの際に意識していることはどんなことですか？

お任せのお客さまもいれば、イメージをしっかりと持っているお客さまもいます。できるだけイメージに近づけるよう、サンプルの中から一緒に近いものを探し提案しています。手渡しなのか、郵送なのか。贈る方の服装、趣味など細かにヒアリングします。

また、仕上がりに立体感を出したいならこの素材、緩みにくいリボンならこれ、など使う資材の特徴も踏まえてお作りしています。

Q. どんなものを包装することが多いですか？

持ち込みも可能なので様々です。変わっているもので覚えているのは、シャベル・抱き枕・長靴です。

Q. どんなシーンでのご利用が多いですか？

結婚祝いや歓送迎会など節目のイベントでのプレゼントとしてご利用が多いです。リピーターの方もいらっしゃいます。ラッピングの相談だけでも承っており、リボンがどれ位の長さ必要かなど様々なご相談があります。

お話を伺った方：くまざわ書店アシスタントマネージャー 吉村様

楽にできる「らくるみ」で 売場に笑顔のサイクルを

新商品

ラッピングは手間がかかるうえに基本的に無料のサービス。人手不足は年々深刻化していて、効率化は長年の課題。そう頭を悩ませている書店様を、「らくるみ」が笑顔に変えます。どなたでも楽に、パッと包める全く新しいラッピング方法。



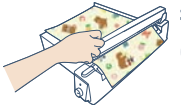
新しいラッピング「らくるみ」
15秒で使い方が分かる動画公開中



Step1
らくるみに
本や雑貨を
入れる



Step2
シーラーで
サイズに
合わせてカット



Step3
リボンや
シールをつけて
完成



①
■ 栃木県アーティストコーナー



小山市や栃木県内で活動しているハンドメイドアーティストコーナー。紹介プレートと共に商品が並べられ、アートギャラリーのような空間になっている。

③
■ 旅行誌

店内にはテナントとして旅行代理店H.I.Sが入っており、コラボ棚を用意している。キャンペーンに合わせて、フェア台を作るなど、win-winの関係になっている。



◀フェア台の棚も一工夫。店内の棚は一部購入もできる。

《店内図》総売場面積 420 坪 / 内テナント 75 坪



②
■ 男前雑貨



国内外から揃えたスタイリッシュなアイテムコーナー“男前雑貨”。目利きセンスがキラリと光る。1点1点にこだわりが感じられる商品が並び。

④
■ Vida Marche



あれも食べたい!これも気になる!輸入食品や、国内人気のご当地食材、こだわりのワインなどを販売するコーナー。

PICK UP !

Vidaway
TSUTAYA BOOKSTORE
おやまハーヴェストウォーク



おやま
栃木県小山市

栃木県南部に位置する。商業開発が進み、新幹線も通ることから宇都宮市に次いで人口が多く、今後も増加が見込める市。



2017 年 12 月 8 日 おやまゆうえんハーヴェストウォーク内に新規オープンした Vidaway が運営する TSUTAYABOOKSTORE おやまハーヴェストウォーク。今回は店長 竹内様・文具雑貨担当 倉田様に店舗コンセプトやギフトラッピングについてお話を伺いました。



選ぶ楽しさがある
種類豊富なラッピングパターン

店内前方にはドライフラワーで飾り付けられた円錐状の木製の棚がある。天井に広がった枝の下には、本部社員が各地で出会った魅力溢れる雑貨が並んでいる。また棚の麓にはラッピング専用のレジを設け、様々なラッピングサービスを展開している。



▲店内で扱われている雑貨やラッピング資材コーナーを“kinoto”と名付けてブランド化。店内のシンボルツリーを思わせるブランドロゴ。



▲マスキングテープを使った缶バッチ作り・ビーズを使ったストラップ作りとともにサンプルの写真を乗せて、TwitterとInstagramで告知。

子供が楽しめる店内イベント

当店はお子様連れが多いので、凝ったワークショップではなく、お子様が楽しめる内容のイベントを中心に行っております。月に1度マスキングテープ工作の先生をお呼びし、300円・400円の参加費で、200種類のマスキングテープから、缶バッチやブックマークを作るワークショップは好評です。



▲Vidaway 企業HPより抜粋
地域のお客様の生活が便利になり、人生が楽しくなるような商品やサービスを提供しイベントを企画する!

当店は、「何げない」とびきりの出逢いを、あなたに。めぐり逢いの、おつたい。」をコンセプトに本・ギフト・旅・カフェの4つのテーマで店内を構成しています。特にギフトとして販売している雑貨は、Vidaway の経営理念である「創り手の想いを伝え、『出逢いの場を作る』を意識し、社長も含め社員が各地から選定し仕入れています。会社の理念がスタッフへも浸透するように育成するのが目標ですね。

創り手の想いを伝える店作り

【パターン1】
入れて縛る / 溶断するだけで
簡単だけど豪華な有料価格ラッピング

リボンと一体化した不織布巾着袋と、“らくるみ”を採用。形の異なる商品でも時間をかけずに簡単に出来る。店内商品の大きさに合わせてサイズ展開を豊富に。



店内では包装紙やリボンも数多く販売。持ち帰ってお客様が包装することも可能。購入した資材でスタッフが包装するサービスも行っている。デザインや素材を豊富に揃え、お客様がプレゼントをトータルコーディネートできる楽しさを提供している。



▲和紙素材の包装紙



不織布よりも安価なクラフト平袋を採用。外側にロゴスタンプを押せばあっという間におしゃれな見た目に!



施設内・地元との関係づくり

施設内・地元とのつながりを持てる関係を作りたいと思っています。

例えば映画が公開されると原作本やサントラCDなどに反響があります。上映作品のポスターを掲示したり、関連商品を強化したり、お互いの販売強化につながる売り場を作りたいと思います。また今後、栃木本コーナーに地元のスポーツチームの書籍を展開しチームイベントの告知をしたいとも思います。



▲“らくるみ”と卓上シーラーを使用したラッピング風景 (左下参照)

効率よく見栄えのよい資材を
使った有料ラッピング

オープン前にラッピングについて協議を重ね、有料メインにすることに決定しました。通常の包装紙に加え、豪華な見栄えになるような、不織布の巾着袋・卓上シーラーで包装できる「らくるみ」を選びました。備品代+人件費になるように販売価格を設定しました。無料ラッピングも用意していますが、まずはお客様にはなるべく見た目の良い有料ラッピングをご案内しています。

オープンがクリスマス前だったため、お客様の2人に1人はラッピングの依頼がありました。特に絵本の複数冊包みやタオル等の柔らかいものが多かった為、紙の包装紙では包むのにも時間がかかって大変でした。クリスマス後には巾着タイプのデザインとサイズの種類を増やしました。

同じ施設内のテナントさんも有料ラッピングを導入しているからか、抵抗なく受け入れられている実感があります。

●“らくるみ”の特設サイトはコチラ→<https://www.rakurumi.com/>

professional

[プロフェッショナル]

大盛堂書店 2階売場主任

第36回 山本 亮

“才能のある人に輝いてもらいたい。
できる限り、やれる範囲で手を抜かない”

渋谷のスクランブル交差点目の前に大きく看板を構える大盛堂書店。テレビなどを通して誰もが一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

渋谷で書店を営み続ける大盛堂書店の特色は、1フロア約30坪の限られたスペースでの作品訴求力と独自イベントの多さ。棚作りやイベント設営への想いについて、2階売場主任・山本さんにお話を伺った。



大盛堂書店の特色を教えてください。

渋谷のと真ん中ということで、若いお客様や海外からのお客様が多いです。以前は高校生が多かったですが、近年は渋谷を訪れる人の年齢層が少し上がってきている印象があります。

大型店のようにきっちりジャンル分けをするのではなく、その時々のお客様層にあわせて臨機応変に商品を変えていくところが強みだと思います。ジャンニズ関連本はよく売れます。海外のお客様はアイドルの写真集、ワンピースやドラえもん、ドラゴンボールなどの人気コミックの1巻を日本に来た記念に買っていかれる方が多いですね。



▲B1のコミック売場
英語のポスターを掲示。

売場作りで意識されていることを教えてください。

やたらとPOPを置くことはしていません。感動、感動と書かれたものはかえって作品の価値を落としてしまうこともあります。自分でPOPを作る場合は、紹介文をさらっと書く程度にとどめています。また、スペースが限られていますので、抜材を設置する際も他の作品を隠してしまわないよう気をつけています。関連書籍を並べる時にうまい分類が思い浮かばないときは、表紙の色味で並べるということを結構やっています。

作家さんがキャンペーンなどでお店に来店して直筆サインをいただけるいたり、出版社さんからサイン本をいただけることもあります。その時だけいい顔をして売っているのではなく、日頃から継続的に店頭でアピールし販売する。サイン本をいただいたらきっちり売り切る。作家さんや出版社さんに対して、有名無名に関わらずそういった姿勢を示すことが信頼になり、「次もまたお願いします」

いします」と言っていただったり、こちらをお願いを受け入れてもらえるのだと思います。

今年の本屋大賞を受賞された辻村深月さんも、ある作品のキャンペーンでこ来店された際、次回作単行本のイベント開催をお願いしていました。ご多忙の時期にも関わらず覚えていてくださり、トークイベント＆サイン会が実現しました。

最近開催したイベントで印象に残っているものを教えてください。

最近で言うと、三省堂書店の書店員・新井見枝香さんのエッセイ発売記念トークイベントですね（おすすめBOOKSコーナー参照）。私が司会進行をし、西荻窪で「Title'sタイトルズ」という新刊書店を営む辻山良雄さんに新井さんのお相手をお願いしました。お二人同士の面識はほとんどなかったのですが、二人の感性に共通するものを感じお声を掛けました。

新井さんとは以前から交流があり、他のイベントにもゲストとして度々登場していただいていた。イベント参加者には書店や出版関係者の方ももちろんいますが、新井さんのファンの方がじわじわ増えてきて、常連さんが付いてきています。この時もSNSでイベントの告知をすると40名の定員がすぐに埋まりました。またイベント自体も定着してきたよう一般の大好きの方も集まるようになってきました。

イベント開催に当たっては、会社都合でできないことがある場合があります。その点、うちは単店ですのでそのような壁やしらがらみがほとんどありません。うちだからできるイベントを、これからも続けていきたいですね。

2F売場案内
コミック・ライトノベル・児童書・絵本は地下売場にございます。
旅行ガイド・地図・グルメ情報・時刻表
語学・TOEIC
資格試験・就職
ビジネス書
新書
△聖地巡礼・ミシマ社の書
旅行ガイド
ビジネス書
実用書
文庫（新装版）
新刊案内

▲取材時の2階売場レイアウト

イベント開催の経緯と運営上で大切にしていることを教えてください。

小さな書店ですので、出版社さんからの企画の持ち込みはあまりないです。出版社の営業さんにこちらから働きかけたり、スタッフの持っているつながりや、キャンペーンでこ来店された作家さんに直接お声掛けするパターンが多いです。いずれにしても日々築いてきた信頼関係があるからこそ実現しています。関係ができているのでお互いにこまではやれるだろうという所もわかり、無理や無茶を言われたことはありません。

イベント運営で大切なことは、面倒くさいと思わないこと。自分が面倒と思ってしまったらそのイベントの成功はない。そして、自分がどうしたいかではなく出演者さん、お客様のことを第一に考えることだと思います。通常業務の他にイベントの準備を行いますので、出演者さんのご要望に全て応えられない面もあります。しかしどれだけ読んでもただけ宣伝するかという仕込みがイベント成功のカギを握ります。大変な分、イベントが終わった際の達成感は格別です。

働く上でのこだわりというものが自分にはありません。裏方に徹して、作家さんや新井さん、辻山さんのような影響力をもっている書店員さんなど才能のある人に輝いてもらえればそれでいいと思っています。野球で言うなら中継ぎですかね。先発ピッチャーに勝ち星が付くほうが僕にとっては面白いのです。

全国の書店さんに一言お願いします！

家庭を持つている方や、お子さんがいる方、時間のやりくりが大変だと思います。できる限り、やれる範囲で手を抜かないということが大切ではないかなと思います。その姿勢は必ずお客様に伝わります。

ありがとうございました

つい手に取りたくなる 山本さんの作る棚



山本さんのもとにはジャンルを問わずたくさんのゲラが集まる。通勤時間や休日に読んでいるという。好き嫌いを問わず依頼されたものは全て受け入れる。膨大な読書量に裏打ちされた選書や棚作りはつい手を伸ばしてしまう魅力がある。

新刊発売 名物!! 店頭マイク営業

取材日当日はビックタイトルの発売日。副店長が店頭に立ちマイクで発売の告知。看板の下にも発売タイトルを大きく印字。渋谷センター街という立地ならではの光景。



山本さんの いちおし★BOOKS

【作品紹介】

某有名書店の“型破り”書店員による初エッセイ。「書店員が書いた心温まる本屋の話」ではなく、37歳、独身、彼氏なし、そんな女のおかしくてちょっぴり痛いお話です。「会社員に向いてない」「結婚に向いてない」日常のエピソードが満載。

【オススメ理由】

こんな大人もいるんだよ、と世の中に知らせたい。書店員で本を出している人はたくさんいらっしゃいますが、新井さんにはいい意味で書店員臭がない。純粋に書き手としての心持が感じられます。



『探しているものは
そう遠くはないの
かもしれない』
新井見枝香著
秀和システム刊